

保健師シリーズ 飛驒市

健診を受けて 健康寿命を延ばそう！

飛驒市って
こんなところ！

飛驒市は平成16年2月に古川町、河合村、宮川村、神岡町が合併し誕生しました。岐阜県の最北端に位置し、北は富山県、南は高山市、西は白川村に接しています。周囲を3000mを超える飛驒山脈に囲まれていて、総面積は792.53km²です。広いようですが、約93%を森林が占めています。標高は500m程度で、年間の平均気温は11度です。冬季は寒冷で豪雪の地域もありますが、四季の移ろいを感じられる地域です。

特定健診受診率向上のため40歳代、50歳代を重点的に訪問

特定健診の受診率は、県下でも高い方ですが、当初と比べると低下してきています(図1)。そのため、平成26年度からは、個別に未受診者宅を訪問することにより、受診を勧めるようにしています。特に40歳代、50歳代を重点に訪問しました。今年度は、3年間未受診の方への訪問を実施しています。また、若い方へ

人口は、合併当初は3万人でしたが、平成29年9月現在は2万4829人となっています。高齢化率は38%弱で、地域によっては45%に近いところもあります。少子高齢化の波は、国が予想しているよりもかなり早く来ており、待ったなしの対策が必要となっています。

周囲地域では、特定健診とがん検診を一緒に受けられるようにしています。

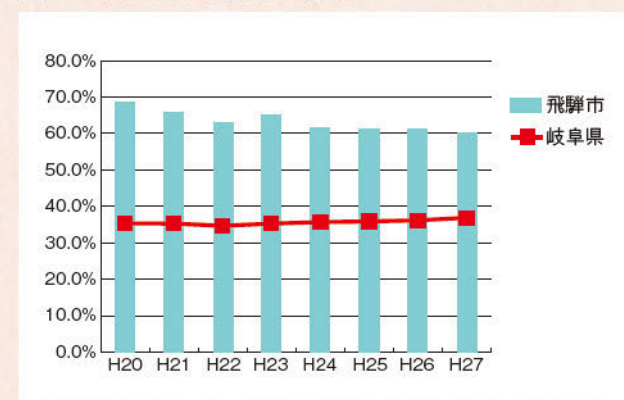
県内での受診率は高い方ですが、なかなか受診者が増えないのが実情です。そのため、国の子宮・乳がん検診のクーポン事業以外に、胃がん検診は飛驒市独自でクーポン券を発行し、受診を勧めています。今年度から3年間は岐阜県の大腸がん検診の補助事業を取り入れ、69歳までの方の検診料を無料にしています。また、乳がん検診は超音波を取り入れた検診を実施し、若い方も受けられるようにしています。昨年度から、検診日に合わせて託児も始めました(表2)。



中学校での赤ちゃんふれあい事業

地元高校での自殺予防キャンペーン

図1 飛驒市特定健診受診率



包括支援センター

健康推進係

表1 特定保健指導実施率

	飛驒市	同規模市平均
特定健診受診率 (同規模市内順位)	60.1% 4位/231市中	39.2%
保健指導実施率	90.2%	36.5%

表2 平成28年度がん検診受診率

	年齢	受診率(%)
胃がん検診	40~69歳	13.5%
大腸がん検診	40~69歳	20.6%
肺がん検診	40~69歳	24.6%
子宮がん検診	20~69歳	34.8%
乳がん検診	40~69歳	43.8%

都竹飛驒市長も持っている
まめとく健康ポイントカード



飛驒市は、昨年度公開された映画「君の名は。」のロケーションの舞台となっており、聖地巡礼に訪れた若い方の姿を見ることができました。古川町保健センターのあるハートピア古川は、映画の中に出てくる駅と線路の風景の一部になっています。聖地は市内各地にあるそうですので、ゆっくりと時間をかけて回っていただきたいです。そのほかにも河合町には自然豊かな天生湿原、宮川町での鮎つり、神岡町には廃線を活用した「レールマウンテンバイク ガッタングー」もあります。風を感じながらノスタルジックな町を走るのも素敵です。春になると、昨年ユネスコ

「まめとく健康ポイント」を始めました

平成29年度からは「まめとく健康ポイント事業」を始めました。特定健診や若者健診・がん検診や歯周病検診等を受けることや自分で決めた健康づくりに挑戦することでポイントが付与され、一定のポイント以上になれば市内で使える商品券と交換できます。現在1780人がエントリーをしています。

飛驒市に来てくれんさい

無形文化遺産に登録された古川祭りがあります。冬になれば、雪の中の三寺参りがあります。春夏秋冬とそれぞれ違う表情を見せる飛驒市にぜひ一度来てくれんさい。



古川町保健センター
(ハートピア古川)

「君の名は。」の一場面。
これは写真です。
本当にそっくり。

がん検診については、保健センターや地域の公民館で実施しています。

飛驒市独自のがん検診
クーポン券を発行

は20歳からの若者健診を実施し、若い時期から健診を受ける事を勧めています。

特定健診を受診された方の特定保健指導の実施率は90%ほどです(表1)。それ以外の方へも個別の訪問、集団での結果説明会や家庭訪問を実施し、受けた健診の結果が住民の健康づくりに活用できるように保健センターのスタッフが支援しています。